

News Release

2021年12月10日
株式会社日本政策投資銀行

NCB九州活性化2号ファンドによる（株）旭製作所の 優先株式引受について

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）、株式会社西日本シティ銀行（代表取締役頭取：村上英之）及び株式会社九州リースサービス（代表取締役社長：磯山誠二）が共同出資する「NCB九州活性化2号投資事業有限責任組合」（以下「当ファンド」という。）は、株式会社旭製作所（本社：熊本県荒尾市、代表取締役：池田靖之、以下「当社」という。）が発行する優先株式の引受を決定しました。

当ファンドは、多様な成長資金の供給により九州地域の企業に対し一層の成長支援を行い、地域経済の活性化を支援することを目的としております。DBJは当ファンドからの投資案件のうち、「特定投資業務（注）」の要件に合致するものについては、同業務を活用することとしています。

当社は1950年創業、1976年に法人設立した医薬・理化学用ガラス製品の製造販売を手掛ける事業者です。当社は耐蝕性に優れたガラス製品を、単品の器具からプラントスケールまで及ぶ幅広いラインナップで取り揃え、かつ、設計・製作からアフターサービスまで一貫して対応する国内唯一の企業であり、当社グループ全体で世界シェア第2位（売上高ベース）を誇っています。

本件は、当社が同業界でのさらなるシェア拡大を企図し、同子会社の Syrris Ltd と共同で行う、自動化・DXに対応したガラス製反応装置の研究開発及び関連設備投資等にかかる成長資金を供給するものです。こうした取り組みが、当社の経営革新に繋がることに加え、中長期的な国際競争力の一層の強化に資することから、「特定投資業務」として出資を行うこととしました。

DBJは、今後とも「特定投資業務」を通じた成長資金に係る市場の発展や地域経済の活性化、競争力強化に向けたお客様の取り組みを積極的にサポートしてまいります。

（注）「特定投資業務」とは、民間による成長資金の供給の促進を図るため、国からの一部出資（産投出資）を活用し、企業の競争力強化や地域経済活性化の観点から、成長資金の供給を時限的・集中的に実施することを企図して設けられたものです。

【お問い合わせ先】

九州支店 電話番号 092-741-7734

News Release

[当ファンドの概要]

名称	NCB九州活性化2号投資事業有限責任組合
組成日	2019年9月20日
ファンド総額	50億円
無限責任組合員 (GP: General Partner)	NCBキャピタルインベストメント株式会社
有限責任組合員 (LP: Limited Partner)	株式会社西日本シティ銀行 株式会社日本政策投資銀行 株式会社九州リースサービス
存続期間	8年間

[ファンドのスキーム図]

